

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	2020年8月12日
【四半期会計期間】	第31期第2四半期（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
【会社名】	株式会社TRUCK - ONE
【英訳名】	TRUCK-ONE CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小川 雄也
【本店の所在の場所】	山口県下松市生野屋南三丁目3番40号
【電話番号】	0833-44-1100（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 眞崎 高利
【最寄りの連絡場所】	山口県下松市生野屋南三丁目3番40号
【電話番号】	0833-44-1100（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 眞崎 高利
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号（福岡証券ビル））

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第30期 第2四半期 連結累計期間	第31期 第2四半期 連結累計期間	第30期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年6月30日	自 2020年1月1日 至 2020年6月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	2,352,707	2,122,891	4,598,400
経常利益 (千円)	59,325	26,037	51,178
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	47,120	18,833	43,513
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	47,034	16,417	44,168
純資産額 (千円)	694,671	696,227	685,807
総資産額 (千円)	3,676,011	3,549,569	3,302,014
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	19.64	7.85	18.14
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	18.9	19.6	20.8
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	161,089	223,232	149,321
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	74,877	127,797	60,629
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	59,031	80,547	28,161
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	457,751	359,431	344,543

回次	第30期 第2四半期 連結会計期間	第31期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	7.99	3.63

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による事業の影響については、感染拡大防止対策を継続しつつ、引き続き今後の状況を注視してまいります。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済活動の停滞や、海外経済の悪化により極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後、経済活動の再開が徐々に進んでおりますが、未だ収束には至らず、新型コロナウイルス感染症第2波の到来が懸念されており、依然として先行きが見通せない状況にあります。このような状況の下、当社グループの主力事業である商用車関連事業は、新型コロナウイルス感染症による営業活動の縮小の影響を受け、減収減益となりました。運送関連事業につきましては、子会社である株式会社T.L.Gと丸進運油株式会社が行っており、新型コロナウイルス感染症による市況の悪化や緊急事態宣言による自粛ムードの影響を受け、減収減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績としては、売上高2,122,891千円（前年同期比9.8%減）、営業利益22,692千円（前年同期比44.3%減）、経常利益26,037千円（前年同期比56.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益18,833千円（前年同期比60.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりです。

商用車関連事業

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受け、県外への営業活動の自粛の影響や賃貸用資産の車両入替に伴う減価償却費の増加等により、商用車関連事業の売上高は1,759,478千円（前年同期比10.3%減）、セグメント利益は7,544千円（前年同期比22.8%減）となりました。

運送関連事業

主に燃料輸送事業において、新型コロナウイルス感染症による経済活動の停滞に伴い、輸送燃料の需要が減少し、運送関連事業の売上高は363,413千円（前年同期比7.1%減）、セグメント利益は14,627千円（前年同期比48.1%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

（資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は3,549,569千円となり、前連結会計年度末に比べ247,554千円の増加となりました。このうち流動資産は229,806千円増加して2,475,743千円となりました。主な要因は現金及び預金が14,887千円、受取手形及び売掛金が8,663千円、商品及び製品が212,954千円増加したことによるものです。また、固定資産は17,748千円増加して1,073,825千円となりました。主な要因は繰延税金資産が4,794千円増加したことによるものです。

（負債の状況）

負債合計は2,853,341千円となり、前連結会計年度末に比べ237,134千円の増加となりました。このうち流動負債は213,262千円増加して2,715,153千円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が322,740千円、リース債務が11,979千円、賞与引当金が19,885千円増加し、短期借入金が50,000千円、未払金が52,464千円、未払法人税等が37,511千円減少したことによるものです。また、固定負債は23,871千円増加して138,187千円となりました。主な要因はリース債務が23,115千円増加したことによるものです。

（純資産の状況）

純資産合計は696,227千円となり、前連結会計年度末に比べ10,420千円の増加となりました。主な要因は利益剰余金が12,836千円増加したことによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ14,887千円増加し、359,431千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は223,232千円(前年同期は161,089千円の資金増加)となりました。主な要因は、減価償却費91,002千円の計上、仕入債務321,090千円の増加による資金の増加及びたな卸資産146,695千円の増加による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は127,797千円(前年同期は74,877千円の資金増加)となりました。主な要因は、固定資産の取得による支出126,951千円の資金の減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は80,547千円(前年同期は59,031千円の資金増加)となりました。主な要因は、短期借入金50,000千円の返済と、リース債務の返済による支出23,760千円の資金の減少であります。

(4) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、経営方針・経営戦略等に重要な変更及び新たに定めた経営方針・経営戦略等はありません。

(5) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(6) 研究開発活動

該当事項はありません。

(7) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、新たに確定した重要な設備の取得の計画につきましては、「第4 経理の状況 1. 四半期連結財務諸表 注記事項(重要な後発事象)」に記載のとおりであります。

3【経営上の重要な契約等】

当社は、2020年4月17日開催の取締役会において、SUN AUTO株式会社の株式を取得し、子会社化することを決議し、2020年5月12日付で株式取得の契約を締結いたしました。詳細は、「第4 経理の状況 1. 四半期連結財務諸表 注記事項(重要な後発事象)」に記載のとおりであります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	10,208,000
計	10,208,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,552,000	2,552,000	福岡証券取引所 (Q-Board市場)	単元株式数 100株
計	2,552,000	2,552,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年6月30日	-	2,552,000	-	97,725	-	42,125

(5) 【大株主の状況】

2020年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
小川 雄也	山口県周南市	466,100	19.43
小川 真也	東京都港区	371,800	15.50
ルコンテ小川 珠里	山口県周南市	358,500	14.94
小川 サトノ	山口県周南市	200,000	8.34
高谷 正一	山口県光市	169,800	7.08
桜井 誠	神奈川県横浜市青葉区	96,400	4.02
柳 宏司	福岡県糟屋郡	68,900	2.87
株式会社西京銀行	山口県周南市平和通1丁目10-2	56,800	2.37
株式会社TRUCK-ONE役員持株会	山口県下松市生野屋南3丁目3-40	51,000	2.13
林 茂生	山口県防府市	20,000	0.83
計	-	1,859,300	77.51

(注) 上記のほか当社所有の自己株式153,100株があります。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 153,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,398,900	23,989	-
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	2,552,000	-	-
総株主の議決権	-	23,989	-

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(自己保有株式) 株)TRUCK-ONE	山口県下松市生野屋南 3丁目3-40	153,100	-	153,100	6.00
計	-	153,100	-	153,100	6.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、ACアーネスト監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	364,569	379,456
受取手形及び売掛金	178,596	187,260
商品及び製品	1,663,267	1,876,221
原材料及び貯蔵品	13,133	7,729
その他	27,115	25,726
貸倒引当金	745	651
流動資産合計	2,245,936	2,475,743
固定資産		
有形固定資産		
賃貸用資産(純額)	217,259	166,882
土地	411,588	411,588
その他(純額)	314,147	382,670
有形固定資産合計	942,995	961,142
無形固定資産合計	8,725	6,930
投資その他の資産		
投資有価証券	28,845	25,180
繰延税金資産	21,908	26,702
敷金及び保証金	22,363	22,246
その他	31,239	31,623
投資その他の資産合計	104,356	105,753
固定資産合計	1,056,077	1,073,825
資産合計	3,302,014	3,549,569
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	548,886	871,626
短期借入金	1,600,000	1,550,000
リース債務	45,249	57,229
未払金	223,952	171,487
未払法人税等	44,021	6,510
賞与引当金	1,114	20,999
その他	38,666	37,298
流動負債合計	2,501,890	2,715,153
固定負債		
リース債務	82,503	105,619
退職給付に係る負債	31,812	32,568
固定負債合計	114,316	138,187
負債合計	2,616,206	2,853,341

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	97,725	97,725
資本剰余金	44,955	44,955
利益剰余金	559,220	572,057
自己株式	14,481	14,481
株主資本合計	687,420	700,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,612	4,029
その他の包括利益累計額合計	1,612	4,029
純資産合計	685,807	696,227
負債純資産合計	3,302,014	3,549,569

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,352,707	2,122,891
売上原価	2,074,276	1,858,829
売上総利益	278,430	264,062
販売費及び一般管理費	1 237,692	1 241,369
営業利益	40,738	22,692
営業外収益		
受取利息	12	72
受取配当金	7,235	729
受取保険金	5,542	556
保険解約返戻金	332	447
補助金収入	1,683	2,573
持分法による投資利益	4,468	-
その他	3,533	1,986
営業外収益合計	22,807	6,365
営業外費用		
支払利息	3,144	2,582
その他	1,076	437
営業外費用合計	4,220	3,019
経常利益	59,325	26,037
特別利益		
関係会社株式売却益	38,202	-
特別利益合計	38,202	-
税金等調整前四半期純利益	97,528	26,037
法人税、住民税及び事業税	61,916	10,749
法人税等調整額	11,509	3,545
法人税等合計	50,407	7,204
四半期純利益	47,120	18,833
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,120	18,833

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	47,120	18,833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85	2,416
その他の包括利益合計	85	2,416
四半期包括利益	47,034	16,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,034	16,417
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	97,528	26,037
減価償却費	71,676	91,002
貸倒引当金の増減額(は減少)	51	93
賞与引当金の増減額(は減少)	18,056	19,885
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	775	756
受取利息及び受取配当金	7,247	802
支払利息	3,144	2,582
持分法による投資損益(は益)	4,468	-
受取保険金	5,542	-
関係会社株式売却損益(は益)	38,202	-
補助金収入	1,683	2,573
売上債権の増減額(は増加)	183,004	3,334
たな卸資産の増減額(は増加)	257,342	146,695
未収入金の増減額(は増加)	27	10,172
仕入債務の増減額(は減少)	78,533	321,090
未払金の増減額(は減少)	9,162	10,693
未払費用の増減額(は減少)	831	651
未収消費税等の増減額(は増加)	3,470	7,838
未払消費税等の増減額(は減少)	1,675	23,383
その他	8,730	6,065
小計	140,401	270,698
利息及び配当金の受取額	7,247	802
利息の支払額	3,150	2,580
補助金の受取額	1,683	2,573
保険金の受取額	5,542	-
法人税等の支払額	3,084	48,260
法人税等の還付額	12,450	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	161,089	223,232
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	0	0
関係会社株式の売却による収入	137,700	-
固定資産の取得による支出	60,356	126,951
貸付けによる支出	-	515
その他の支出	3,527	1,750
その他の収入	1,061	1,419
投資活動によるキャッシュ・フロー	74,877	127,797
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	100,000	50,000
割賦債務の返済による支出	1,406	818
リース債務の返済による支出	33,598	23,760
配当金の支払額	5,963	5,968
財務活動によるキャッシュ・フロー	59,031	80,547
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	294,998	14,887
現金及び現金同等物の期首残高	162,753	344,543
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,457,751	1,359,431

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
給与手当	58,645千円	63,305千円
賞与引当金繰入額	9,113千円	10,130千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
現金及び預金	489,776千円	379,456千円
預入期間が3か月を超える定期預金	32,025千円	20,025千円
現金及び現金同等物	457,751千円	359,431千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月20日 定時株主総会	普通株式	5,997	2.50	2018年12月31日	2019年3月22日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年7月16日 取締役会	普通株式	5,997	2.50	2019年6月30日	2019年9月2日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月19日 定時株主総会	普通株式	5,997	2.50	2019年12月31日	2020年3月23日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年7月17日 取締役会	普通株式	5,997	2.50	2020年6月30日	2020年9月1日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	商用車関連事業	運送関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,961,335	391,372	2,352,707	-	2,352,707
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55,115	19,831	74,946	74,946	-
計	2,016,451	411,203	2,427,654	74,946	2,352,707
セグメント利益	9,779	28,199	37,978	2,759	40,738

(注)1 セグメント利益の調整額2,759千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	商用車関連事業	運送関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,759,478	363,413	2,122,891	-	2,122,891
セグメント間の内部売上高 又は振替高	98,753	26,058	124,812	124,812	-
計	1,858,232	389,471	2,247,704	124,812	2,122,891
セグメント利益	7,544	14,627	22,172	520	22,692

(注)1 セグメント利益の調整額520千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純利益	19円64銭	7円85銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	47,120	18,833
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	47,120	18,833
普通株式の期中平均株式数(株)	2,398,900	2,398,900

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

1 (株式の取得による子会社化)

当社は2020年7月3日に以下のとおり、SUN AUTO株式会社の株式を取得し、子会社化いたしました。

(1) 株式取得の目的

SUN AUTO株式会社は東南アジアに独自の販売ルートを構築し、主に国外向け中古商用車販売事業を営んでおります。

当社におきまして、以前はロシアやニュージーランド向けに輸出を行っていましたが、リーマンショックや海外の輸入規制の煽りを受け、近年は国内販売に特化し、事業を展開してまいりました。国内販売においても今のところ大きな変化はないものの、国内労働人口の減少や輸送の効率化に伴う商用車の減少も予想され、海外市場への提供を目指し様々な機会を模索してまいりました。

この度の株式取得により、当社の強みである輸出用車両の仕入れとSUN AUTO株式会社の持つ東南アジアの販売網を獲得することで、シナジー効果を発揮することが期待できます。また、各国の規制や商習慣に対応するノウハウ等を得ることが可能となり、海外市場への提供を拡大することを目的としております。

(2) 株式取得の相手の名称

小野 純一

(3) 株式取得の相手の概要

名称 : SUN AUTO株式会社
事業の内容 : 自動車輸出入事業
資本金 : 20,000千円

(4) 株式取得の時期等

取締役会決議日 : 2020年4月17日
契約締結日 : 2020年5月12日
株式取得実行日 : 2020年7月3日

(5) 取得する株式数及び取得後の持分比率

取得する株式数 400株
取得後の持分比率 100%

取得価額につきましては、当事者間の合意により非公表としておりますが、適正価額を算出しております。

(6) 支払い資金の調達方法及び支払方法

自己資金及び借入による調達

(7) 今後の見通し

本株式取得に伴う、当社グループの2020年12月連結業績に与える影響については精査中であります。

2 (資金の借入)

当社は、2020年6月15日開催の取締役会決議において、上記株式取得に伴う手元資金の減少を補うため、2020年7月3日に下記のとおり、金融機関から資金の借入を行っております。

- (1) 資金使途 : SUN AUTO株式会社のM&A資金及び将来的な設備投資資金
- (2) 借入先 : 株式会社 広島銀行
- (3) 借入金額 : 400,000千円
- (4) 借入金利 : 基準金利 + スプレッド
- (5) 借入実行日 : 2020年7月3日
- (6) 返済期限 : 2025年7月3日
- (7) 担保の有無 : 無担保・無保証

3 (固定資産の取得)

当社は、2020年8月3日に以下のとおり、固定資産(土地)を取得いたしました。

(1)取得の理由

当社では更なる業績向上に向け、多種多様なお客さまのニーズにお応えすべく商品ラインナップの拡充強化を掲げております。斯様な中、展示場の拡張をはじめ、今後、最新型車両にも対応できる車検整備ラインの充実も視野に入れ、当該土地を取得する運びとなりました。

(2)取得資産の内容

固定資産の種類	土地
所在地	山口県下松市生野屋南3丁目1番外
土地面積	9,333.74㎡
取得価額	280,000千円
物件引渡時期	契約締結後6か月以内

(3)当該事象の連結損益に与える影響額

当該土地取得に伴う、当社グループの2020年12月連結業績に与える影響については精査中であります。

4 (社債の発行)

当社は、2020年6月15日開催の取締役会決議において、上記固定資産の取得資金として、以下のとおり社債を発行することを決議し、2020年7月27日付で発行いたしました。

- (1)社債の種別(名称):株式会社TRUCK-ONE 第1回無担保社債(株式会社西京銀行保証付・適格機関投資家限定)
- (2)発行総額:250,000千円
- (3)社債の利率:年0.3%
- (4)発行価額:額面100円につき金100円
- (5)償還金額:額面100円につき金100円
- (6)償還期限:2030年7月27日
- (7)償還方法:最終償還期日に一括償還
- (8)払込期日(発行日):2020年7月27日
- (9)保証人:株式会社 西京銀行
- (10)財務代理人:株式会社 西京銀行
- (11)総額引受人:株式会社 西京銀行
- (12)振替機関:株式会社証券保管振替機構

2【その他】

第31期（2020年1月1日から2020年12月31日）中間配当につきましては、2020年7月17日開催の取締役会において、2020年6月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	5,997千円
1株当たりの金額	2円50銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2020年9月1日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月11日

株式会社TRUCK - ONE

取締役会 御中

ACアーネスト監査法人

代表社員 公認会計士 和田 治郎 印
業務執行社員

代表社員 公認会計士 大森 浩二 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社TRUCK - ONEの2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社TRUCK - ONE及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

1. 重要な後発事象の注記に記載されているとおり、会社は2020年7月3日にSUN AUTO株式会社の株式を取得し子会社化している。
2. 重要な後発事象の注記に記載されているとおり、会社は2020年8月3日に固定資産を取得している。
当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。